

環境問題に関するババの御言葉

環境汚染は偽善と不誠実のせいです。堂々と立ち、自分の信念を公言し、それに従って行動する人が誰もいません。

1968年5月18日

ナガラサンキールタンは個人と社会の双方に大きな影響を及ぼします。汚い空気を吸えば、健康が害されます。愛も敬意もない、忌まわしい淫らな宣伝文句をがなりたてること、また、話すだけでも、空気は有害なバイブレーションで汚染されます。空気をきれいにするには、神聖で、健全で、幸せなバイブレーションを広めなければなりません。それも、夜明けと共に人々が外に出てくる前にです。善良な男女のグループが神の御名を高らかに歌いながら通りの端から端まで歩くとき、御名の一つひとつからよい香りが漂い、御名の一つひとつに愛が共鳴します。それらが空気を清め、すべての人が吸うべき澄んだ空気へと変えるのです。

1970年11月22日

何千マイルも離れた、どこか遠い国で、アメリカやロシアの手で原子爆弾が爆発させられると、死の灰が世界中に移動して、大気を汚染し、植物を毒し、生命をねじ曲げるということを、それらに対処しなければならない医師たちは述べています。敵意の叫びと不満の結果として生じる、憎しみ、貪欲、慢心、妬みのバイブレーションも、死の灰と同様に深刻に空気を汚染します。人間は、戦場にいるときや、陸や海や上空で冒険をしている最中には、大いなる精神的、肉体的勇気を示します。人間は、ありとあらゆる障害に立ち向かおうとするときに莫大に勇気が高まることを、歴史の中で明白に示してきました。しかし、物質世界とのもつれ合いを放棄する勇気こそが、偉業なのです。

1970年11月22日

大多数の人々は、日常生活で自分が使っている水や電気、住居、仕事にさえ税金を払っています。では、生きるために不可欠な条件である、太陽、月、火、水、空気、空間等々を提供している神には、どんな税金を払っていますか？ それを与えている存在、供給している存在、その原理、その者を認識していない人は、愚か者です。科学者は、すでに存在する物質を計量、測定、分析することはできます。配列と組み合わせによって、既存の物質からそれらを奇妙な形や姿なものにすることができます。けれども、科学者は酸素や水素などを新たに作り出すことはできません。それは神の意志によってのみ起こりえることです。もともと供給されている物質がなければ、科学者は最初からものを作り出すことはできません。科学者は、大地、水、火、空気、空間、五感の対象物を超える領域では無力です。科学者の活動は自然界に限定されていますが、自然は神の一部が現れたものにすぎないのです。

1973年5月21日

自然環境を構成している五大元素のバランスが保たれていれば、世界は健全な状態で存在します。もし、このバランスが乱され、元素が汚染されてしまったら、その国はさまざまな意味で苦しむこととなります。科学と技術の産物が大気や河川や海を汚し、大自然のバランスを乱れさせるならば、たくさんの有害な結果が生じます。汚染は、多くの新しい疾病を生じさせます。現代では、きれいな空気ですら希少品となってしまいました。地球の4分の3は水で覆われています。海底には多くの鉱物があります。しかしそれらを採用するときには、限度を守るべきです。さもなければ、たとえ陸と一線を画している大海でも、その境界を越えて押し寄せてくることがあります。地震や火山の噴火すらも、自然界の生態系のバランスを乱した結果によって起こるのです。

1983年6月16日

人間には7万2千の血管があります。ヴィヤーナ ヴァーユ（エネルギーを循環・分配する風元素。体中に行き渡っている生气）は全循環系の中をくまなく吹いています。ヴィヤーナ ヴァーユはヴァーユ（風元素）を源としています。大気が汚染されると、7万2千の血管も汚染され、この影響がアパーナ ヴァーユ（内側から不要なものを取り除く風元素。下方に向かって流れ、肛門から出て行く生气）に及ぶと癌や心臓発作を引き起こします。健康のためには清らかなヴィヤーナ ヴァーユが必要です。

1983年6月16日

果物にはビタミンが含まれています。野菜もそうです。果物や野菜は皆さんにいくらかでも力を与えることができます。しかし、人が今、摂取しているものは「人工のビタミン」と呼べるようなものです。そして、そのような野菜の人工的な形態を通して、あらゆる種類の病気があふれているのです。かつて、村ではさまざまな野菜を収穫していました。一般の習慣では、天然の肥料、つまり牛糞という形態の肥料が、植物に施されていました。オクラやキュウリといったものを自然な状態で収穫することができました。大きさは小さかったかもしれませんが、含まれている栄養素は豊富でした。あるいは、赤唐辛子を例にとってみましょう。赤唐辛子は、小さくても一本あれば、鍋いっぱいサンバルに香りを添えるのに十分でした。今、赤唐辛子は釣り合いを失って膨れ上がり、巨大な、大きな赤唐辛子になっているのを目にします。人はそうした赤唐辛子を大量に手に入れて、小さなカップ一杯のラッサムに入れていきます。それでも、赤唐辛子の風味を味わうことができずにいます！ その理由は何でしょう？ 赤唐辛子は今、人工の肥料で栽培されており、本来持っているべき固有の力を実際には備えていないからです。村と都会を比べてみると、都会の住人より村人たちのほうがずっと病気が少ないのです。というのは、都市や町に住んでいる人たちは、きれいな空気を吸えず、清浄な水を手に入れられず、食べるべき清浄な食物を得られていないからです。都市の住人が持つ外見的なイメージは確かに健全なものです。しかし、実際に差し出されているのは、害のある物なのです。現在の化学肥料は欠陥だらけです。その結果、皆さんは数多くの癌の症例や心臓疾患を目にしているのです。

1983年10月8日

人々は平和について語りますが、自分の語っていることとは反対のことをしています。一方では平和について語りながら、もう一方では核爆弾を保持しています。全世界が環境汚染に苦しんでいます。スターウォーズ計画の話は、宇宙空間すらも汚染する危険を含んでいます。平和を望む思いが人々のハートの中に築かれなければなりません。

1985年11月22日

工業経営におけるアヒムサー（非暴力）には、単に他人に害を与えないということ以上に、広義の社会的な意味があります。大気汚染や、川をはじめとする天然資源の汚染を避けることは、企業がアヒムサー（非暴力）を実践する方法です。

1990年2月10日

人が吸う空気も汚染されています。環境全体が汚染されています。人が食べる食物も汚染されています。人類が今日体験している諸問題やさまざまな不安のすべての根底に何かあるかを追求してみれば、人間が五元素を乱用していることに原因があることがわかるでしょう。

1991年11月23日

今、世界では、人の心も、空気も水も、あらゆるものが汚染されています。五大元素のすべてが汚されています。人の生活は五大元素に基づいています。ですから、人は五大元素の汚染の体現なのです。人間としての生の神聖さが奪われています。坂を滑り落ちるように、日々モラルの価値が低下しています。人間の中にある獣性が猛威を振るっています。人が獣性を滅ぼして神の段階に上昇することができるのは、人間の中にある神の性質を育むことによつてのみ可能です。そのためには、自己中心的なところをなくさなければいけません。

1991年7月22日

1973年1月28日、カルカッタ〔現コルカタ〕近郊のバツリアパラという村にプラスチック工場ができました。その工場から液体の化学物質が汚水として流されました。油売りが、その油ぎった液体に目をつけました。油売りはそれを集めて、自分が客に売っている食用油と混ぜました。その村で、突如として身体の麻痺が多発しました。男性も女性も子供も、あらゆる人が麻痺に襲われました。当局が調査した結果、身体の麻痺が発症したのは、その油売りから買った混合油を摂取した後だということが判明しました。商人たちのなかには、不正をしてまで利益を得たいという貪欲から、神聖で貴い人間の命を危険にさらす者もいます。現代では、かなりのビジネスがこの種のものであります。私たちは、清らかな牛乳、清らかな水、清らかな空気を得ることができなくなってしまいました。どの商品にも混ぜ物がされて、質が落とされています。新車でさえ、買った翌日に問題を起こします。このようにして、あらゆる生活必需品が汚されています。この悪の根底には、自分さえよければ、という気持ちがあります。モラルの価値をおろそかにしているせいで、これは次第に

大きくなっています。モラルティー（道徳的であること）とは、善い行いを意味します。善い行いは、正しいことと間違っていることがわかることに基づいています。

1991年7月22日

ビジネスマンたちは、自分たちの工場の水を湖や川に垂れ流し、湖や川を汚染しています。ボンベイでは、海にまで水を垂れ流しています。君たちは、決してそのようなことはすべきではありません。もしそんなことをしたら、後で自分の家族がその影響を受けることとなります。君たちは、決してそんな会社に入るべきではありません。そんな会社のマネジメントをするよりも、自分で小さな仕事をするほうがましです。

1991年7月22日

(Students With Sai: Conversations 1991 to 2000)

現代の技術の進歩は、大気を二酸化炭素のガスで汚染することによって、地上の生命体に脅威を与えています。すでに、このガスは、太陽からの有害な放射能を遮断する働きをしている地球上空のオゾン層に穴を開けてしまっています。もし、オゾン層が破壊されれば、太陽光線の影響によって、悲惨な結果がもたらされるかも知れません。今や、すべての国がこの脅威を心配しています。この危険を回避するために必要とされることは、自動車や工業製品や工場から排出されるガスによる大気汚染を減らすことです。制限なくなされている製造業の開発は、チェックしなければなりません。開発は、公共の利益にかなう、万人の福祉を促進するものでなければなりません。

1992年9月27日

ナヴァラートリー祭は、自然を敬う機会であり、また、どのようにすれば天然資源を人類にとって最も有益な方法で利用できるかを考える機会です。水、空気、エネルギー、鉱物などは、正しく使うべきであり、誤用されたり、無駄に使われたりすべきではありません。あらゆる天然資源の使用を節約することは、非常に大切です。大気汚染は数々の悪い結果を引き起こします。ナガラ サンキールタンやバジャンをすることの内的意義は、大気を神聖なバイブレーションと聖なる想いで満たすことにあります。

1992年9月27日

地球の上空のオゾン層は、大気汚染のせいで大きな危険に直面しています。この汚染を食い止め、オゾン層を守るには、集中的な植林が必須です。

1992年10月4日

快適さを与えることにも配慮が必要です。いきすぎた快適さは人の心を台無しにし、幸福をもたらすどころか、みじめさの原因となるからです。「ナ シレーヨー ニヤمام ヴィナー」〔限度がなければ幸福はあり得ない〕ということです。テクノロジーが進歩し、いきすぎた快適さが与えられているために、生活は機械的になり、霊性は衰えました。科学は一切をばらばらにして断片にしますが、霊性は多様性の中の唯一性を樹立します。今、

人々は人類が一つであるとの思いを培う努力をしていません。一例をあげましょう。大気中にはオゾン層があり、太陽の放射する有害な影響から地球上の人々を守っています。テクノロジーの進歩により、大気中に有毒なガスを排出する工場がいくつか建てられました。その結果、オゾン層は薄くなりました。もしこれが歯止めなく続けられれば、恐るべき災害を招くでしょう。科学者たちはオゾン層の破壊を食い止めようと努力していますが、救済策を見つけられずにいます。この状況の事実上の原因は、一定より多くの二酸化炭素が大気中に放出されていることです。普通ならば、二酸化炭素は草や木に吸収されます。草木は、光合成という自然のプロセスによってそのガス〔二酸化炭素〕を吸収して酸素を供給することができます。ところが、危険信号が出るまでに森林伐採がなされているために、大気中の二酸化炭素はかなり増加しています。したがって、この状況に対する救済策は、集中的な植林、いたる所にもっと木を植えること、今生えている木を他の目的のために伐採せずに守ることです。

1993年1月21日

何の運動もせずに、座ってばかりの生活を送っている人々がいます。私からのアドバイスとして、通勤や通学をしている人は最低でも一日5、6キロは自転車で通うことを勧めます。こうして自転車に乗ることは、健康を維持するだけでなく、車に使う出費を減らすのにも大いに役立ちます。もう一つの利点は、交通事故を回避できることです。しかも、自転車通勤は、車から出る有害な排気ガスによって引き起こされる大気汚染を減らすのにも役立ちます。

1993年2月6日

車や工場から出る二酸化炭素の煙は、すでに都市の大気を汚染し、地球の上空にあるオゾン層に影響を及ぼしています。第一の課題は、空気や水や食物の汚染による影響をこうむっている環境を浄化することです。五大元素のすべてが汚染されています。ですから、人々は車の使用を減らし、有害な工業廃棄物の排出を規制するよう努めるべきです。古代において、聖者や科学者たちはアーユルヴェーダの治療法を勧めました。アーユルヴェーダは病気を治す自然な方法と考えられていたからです。木は、人間の吐く二酸化炭素を吸収し、人間に大気中の酸素を受け取らせるという、命にかかわる役割を果たしています。それゆえ、古代の人々は、大気汚染を抑えるために、木を育てることを大切にしました。ところが、現代では、樹木は分別なく伐採され、汚染は増すばかりです。人間と木の関係は、アーユルヴェーダで用いられている「ヴァナスパティ」〔木の主〕という語によって示されています。

1993年2月6日

重大なことのひとつに、地球の上空のオゾン層が薄くなっていることがあります。その結果、火災による災害の脅威があります。さらに、皆さんが新聞の報道で目にする、爆弾が爆発するといったような脅威もあります。この国〔インド〕は人為的災害の危機に直面しています。もし人々が人間としての存在の神聖さを認識するならば、これらの危険は避け

られます。人々は、自分に与えられた時間をどのように使っているかを自問しなければいけません。1年は3,153,600秒あります。これら貴重な瞬間をどのように使っていますか？

1993年3月24日

現代では、ヴェーダの影響力が減少しているために、世界中にかなり多くの邪悪、困難、混乱が蔓延しています。水、空気、食べ物、音はすべて、公害によって汚されています。私たちは汚染された生活を送ることを強いられています。私たちの呼吸する空気そのものが汚染されているとき、どうやって公害とは無縁の生活を送ることができるでしょう？ハートの純粋さを確実にするためには、環境と自然の元素が清らかであるべきです。この汚染の原因は、他ならぬ私たち自身の行いにあります。私たちがどのような言葉を口にしようとも、それは大気全体に広がります。私たちは、ヴェーダを詠唱し、神の栄光を歌うことによって、世界の大気を清めることができます。太古のリシ〔聖仙〕たちは、森へ入って、全世界の大気を清めるためにヴェーダのマントラを唱えたものでした。今日、ヴェーダは軽んじられています。この偉大なバーラタの国民は、ヴェーダの無限の力を理解していません。バーラタの国民がヴェーダの甘さを経験していないのは残念なことです。

1993年10月18日

悪い考えはすべて、悪い環境のせいで生じます。私たちの吸う空気はあらゆる所に存在しますが、空気にはたくさんの悪い言葉が混じっています。そのような空気を吸うと、心の中に悪い考えが入ってきます。（中略）私たちの周囲にはラジオ局から流される電波や音波が存在し、その無益な歌や音のすべてが空気に混じります。結婚を言い訳に、人々は無益な歌をラジオで流し、空気を汚しています。ナーマスマラナ（唱名）は空気を清める一つの方法です。

Sathya Sai Newsletter Fall 1995

今、いたるところに不純物の混合と汚染があります。空気と水は汚染されています。食べ物も、不純物が混合され、汚染されています。さらに深刻なのは、人の心自体が汚染されていることです。

2000年5月23日

今、食べるものも、飲む水も、吸う空気も、すべてが汚染されています。人間自身もひどく汚染されています。それは、自分のマインドを悪い感情で満たしているからです。悪い感情とは、悪い欲にほかなりません。当然、人間には欲があるものですが、欲には限度がなければなりません。

2000年8月11日

人間がアンバランスな生活をしているため、人間性が衰えつつあります。人間的価値が育まれるなら、人間は自分の知識を知力に変え、生活の正しいバランスを維持するはずで

す。今日の世界は生態系のバランスを失いつつあります。まったくの利己主義のために、人間が母なる大地から石炭・石油・鉄といった資源を強奪しているからです。その結果、私たちは地震や洪水、その他大きな破壊力のある自然災害に遭遇します。生態系のバランスが取れたときに初めて、人間の生活は充実したものとなるでしょう。

2000年9月25日

人間の生活のバランスと自然のバランスは共に重要です。今日では、海洋生物さえも、科学の進歩と呼ばれるものによって危機にさらされています。科学の進歩は歓迎しますが、それによって生態系のアンバランスを招くべきではありません。人間と世界は科学からの恩恵を十分に受けるべきです。しかし今は誰もが自分本位に儲けようとしています。社会を顧みる人は誰もいないかのようです。

2000年9月25日

私たちが口にする食べ物、飲む水、呼吸する空気はすべて汚染されています。実は、人間にとってもっとも大切な五大元素すべてが汚染されているのです。汚染された世界をきれいにするのが、学生の最大の義務です。あなたの身体と心を清潔に保ちなさい。清潔さは神です。あなたの思いと行動を純粹にきなさい。どの人に対しても甘く優しく話みなさい。

2000年9月25日

シンガポール、マレーシア、ドイツといった国々では、核実験による核爆発のせいで海水が汚染されています。そのために、その水に住む生物はその毒（核汚染物質）を食べています。そのような生き物を食べれば、あなたもその毒の一部を摂取することになります。それは癌を引き起こします。そのせいで、シンガポールやマレーシアといった国々では、子供までもが、頭や他の部分に癌を患っています。世界には多くの汚染食品が存在します。そして、それが人を害しています。

2002年7月27日

現代の医者たちは、「近ごろ、癌の発見件数が増えたのは、診断器機がよくなったおかげだ。昔は癌になっていてもわからなかった」などと言います。彼らは、単に自分たちは正しいと主張したいがために、そう言っているだけです。以前も癌にかかる人はいましたが、これほど流行ってはいませんでした。当時は、それを腫瘍と呼んでいました。しかし、昨今では、小さな腫物ができると、誰もが、医者さえもが、これは癌かもしれないとおびえます。人々は、癌をなくすために何でも検査しがります。もしあなたが清らかで神聖な食べ物を食べていれば、癌はあなたに寄り付かないでしょう。癌患者が増えているのは、大気と水と食品の汚染のせいです。ひとたび癌が定着してしまったら、治すのは不可能です。ですから、病気を予防して健康で幸せな生活を送るために、よい食べ物を食べなさい。

2002年7月27日

今日、教育の高潔さは、科学的な知識の誤用のために衰えています。科学者は、自然の法則を変えることに尽力しています。もし木に実がなったとしたら、それは木が注射をされているからです。もし牛がこれまでより多くの乳を出したとしたら、それは虐殺した別の動物の臓器を餌として与えられているからです。科学者たちは、動物の局部を牛に食べさせると、牛は強くなって、より多くの牛乳を出すと考えています。近ごろは、水さえも汚染されています。汚水こそが、人間が患うあらゆる病気の原因です。

2007年1月14日

最近はずべてがすっかり汚染されています。私たちの飲む水、食べる食べ物、吸う空気は汚染されています。実に、五元素のすべてが汚染されてしまいました。他ならぬ人の命は、その五元素に依存しています。五元素のすべてが汚染されているとき、どうやって人の生活がその影響を受けずにいることができるでしょう？

2008年5月1日

今の人々は、果物や野菜を食べることさえ恐れています。というのも、果物や野菜が健康に害のある化学物質の助けを借りて栽培されているからです。私たちが食べる食べ物、飲む水、吸う空気はすべて汚染されています。そのように汚染された環境の中で、どうして健康な生活を送ることができるのでしょうか？ ですから、私たちは自分たちの生活を汚染のないものにするべきです。私たちはそれを自分自身でしなくてはなりません。単に自分の味蕾を満足させるためだけにジャンクフードを食べて、健康を害するべきではありません。自分の健康に十分な配慮をするなら、皆さんに生まれる子供たちも健康になるでしょう。

2008年7月22日

見境なく技術を使うことで、空気も水も食べ物も、世界中のすべてが汚染され、毒されています。幸いにも、バーラタの国はこの世界規模の汚染を免れています。私たちは科学や技術を追いかけるべきではありません。人間性を欠いた科学は人間の存在そのものに対する大きな危機をはらんでいます。

2008年11月22日

今、この世の誰もが物乞いのようになっています。政治家は票をねだって、票のためにお札を配ります。そして、票をお金で買うことによって当選するのです。この世はすべて、物乞いのお芝居です。社会はそのような物乞いのせいで荒廃し、汚されています。今では至る所、汚染、汚染、汚染です。水の汚染、食物の汚染、空気ですら汚染されています。牛乳を買いたいと思っても、牛乳も汚染されています。このように、今では、すべてのものが汚染されています。清らかなものなど一切どこにも見られません。きれいな水さえありません。水も同様に汚染されています。ガンジス河はリシケーシュから流れてくることは知っていますね。我々がバーラタ国では、ガンジス河は母と崇められています。ところが、人々は、それほど神聖な河までも汚染しています。ガンジス河に立って礼拝をしよう

としたバラモンが、水面にふかふか浮かんでいる人の手足を目にすることさえあります。同じように、すべてのものが汚染され続けています。学生諸君は、こうした汚染を排除するために清らかな心を育てるべきです。そうして初めて、学生諸君はこの国を解放する者となるのです。清らかな心とは、いかなる疑念も持たない、汚れなき心、揺るぎない、無私の心です。

2009年6月4日

不規則な食事と、親の世話の欠如のせいで、子どもたちの健康も害されています。子どもたちは汚染された水を飲み、健康を害しています。なぜなら、家にいて教えてくれる者が誰もいないからです。なぜ、妻が外に働きに出なければならないのですか？ もし他人の子どもを教えに学校に行くなら、自分の子どもは誰が教えるのですか？ ですから、自分の子どもの世話をするのは自分の義務です。もし、自分の子どもを教え、良い子に育てることができれば、それは良い給料を稼ぐことに等しいのです。人は自分の夫と子どもの世話ができない女性の状態を哀れに感じます。自分の子どもに規則正しく適切な食事を出して、子どもの健康を気遣うことができれば、それで十分です。もし、職に就いて自分の子どもを家で放っておくなら、稼ぎのすべては料理人とベビーシッターと掃除人のところに行ってしまうでしょう。

2009年7月7日